

## 第五章

### 結論及び今後の課題

本章はデータの分析結果から結論及び今後の課題を認定する。その研究の結果は次のような記述する。

#### A. 結論

1. 日本語スピーチコンテストの原稿の内容は一人暮らし問題 (*personal problem*)、地球環境 (*concern*)、人間関係 (*human relationship*)、観念論 (*idealism*)などがある道徳的なメッセージと科学的なメッセージを話す。一般的でユニバーサル道徳的なことと *character building* という話を伝える。
2. 日本語スピーチコンテストの原稿の形はジャンル分析であり、ジャンルによって、四つのタイプを与える。それは叙述文と論争文とエッセイ文と描写文を使用する。
3. 日本語スピーチコンテストの原稿のレトリックはアナロジー（比較）、レトリック疑問またはエロテシススタイル、感情表現、道徳と科学的なメッセージ、例証と実例方法、感情的なアピールと理性的なアピー

ルを使用する。それからエトス、パトス、ロゴスというアリストテレスの理論も使用する。

▶ 一般的な理論は次のような記述する。

- アルワシラーによって、実際に叙述文と描写文は時々結合することができ、エクスポ文の機能もある。
- スピーチは情報や意見や社交目的のスピーチのコンビネーションも使用することができる。良いスピーチはそのコンビネーションを使用したほうがいい。

▶ 日本語スピーチの手順は次のような意見を記述する。

- a. 内容は印象づけるため自分がよく知っていることと興味があることと聞き手に役に立つことを話したほうがいい。
- b. タイトルは面白く、挑発、適切、そして刺激的なことを使用したほうがいい。
- c. 目的を決定したほうがいい。
- d. スピーチのタイプを決定したほうがいい。
- e. スピーチの構成を整理したほうがいい。
- f. ジャンル分析を決定したほうがいい。
- g. 日本語感情表現の形式を使用したほうがいい。
- h. 心の底から話しを伝えたほうがいい。

## B. 今後の課題

本研究は日本語のスピーチの原稿における内容と形とレトリックの分析をした後、いろいろな虚弱なポイントがあるから今後の課題を記述する。

1. サンプルのバリエーションを増やしたほうがいい。
2. 文法、文章（句、節、パラグラフ、脈絡、結束、言葉）の分析を整理したほうがいい。
3. レトリックという研究問題の中心点の分析をしたほうがいい。
4. 談話分析の中心点の分析をしたほうがいい。
5. 完璧のスピーチのため、ビジュアルビデオでオラトリーまたは実演 (*performance*) を使用したほうがいい。